

私立大学図書館協会東地区部会研究部 2015年度第4回運営委員会議事録

日 時：2015年7月10日（金） 14：00～17：00

場 所：慶應義塾大学 矢上キャンパス 理工学メディアセンター会議室

出席者：青木みちる（学習院大学）、秋場理世（白百合女子大学）、新井和之（成城大学）、
金沢美都子（早稲田大学）、齋藤雅彦（専修大学）、佐藤友治（文化学園大学）、
吉田千草（明治大学）、吉田真希子（慶應義塾大学）【事務局】佐々木俊介（桜美
林大学）、【オブザーバー】高野真理子（大学図書館支援機構）

議事概要：

配布資料（資料 1-1）2015年度研究分科会報告大会での発表について、（配布資料 1-2）
2015年度研究分科会報告大会実施スケジュール、（資料 1-3）2015年度研究分科会報告大
会発表スケジュール、（資料 1-4）2015年度研究分科会報告大会発表要旨、（資料 1-5）研究
分科会報告大会会場機器一覧、（資料 1-6）研究分科会報告大会発表レジメ（様式 08）につ
いて確認を行った。

うち（資料 1-3）については、レファレンス研究分科会を加えて再作成し後日メールで確
認することとなった。（資料 1-5）については、会場校の明治大学の吉田（千）委員に確認
してもらうこととなった。

（資料 2-1）2015年度研究分科会夏期研究合宿実施計画一覧（資料 2-2）、2015年度研究
分科会夏期研究合宿研究テーマについて確認を行い、月例担当理事校にメールで問い合わ
せのあった、和漢古典籍研究分科会のオブザーバーML会員の集中研究会参加を可とするこ
とを確認した。

企画広報研究分科会代表よりメールで研究部担当理事校に問い合わせのあった「アンケ
ート調査に関する問い合わせ」について審議を行った。研究発表のため会員の所属図書館
利用者に SNS 利用調査のアンケートを実施したが、事前に研究部に報告がなく、アンケー
ト実施の際も研究発表に使用する旨を明記していなかったという点について審議を行い、
次のとおり企画広報研究分科会代表に通知することとなった。

『研究分科会マニュアル』15.アンケート調査 1) 実施の承認について に基づき、事
後ではあるが、研究部担当理事校宛に調査要領および調査票を提出してもらい、その内容
等について研究部で確認をしてから問題がなければ承認する。

（資料 3-1）2016-17年度会員更新スケジュール、（資料 3-2）新規研究分科会受付募集に
ついて（ご案内）及び記入上の注意、（資料 3-3）新規研究分科会申込書（様式 17）、（資料

3-4) 新規研究分科会申込書FAX送信票、(資料 3-5) 私立大学図書館協会東地区部会研究部研究分科会申し合わせについて確認を行った。

うち、(資料 3-1) について、1. 2015 年 9 月中旬：募集要項依頼の「研究分科会代表者宛に依頼」および「加盟大学図書館長宛に送付」については、いずれも e-mail で発信、e-mail または Fax で受領という方法に統一することとなった。

(資料 4-1) 2016/2017 年度研究分科会会員募集要項の原稿提出について(依頼)、(資料 4-2) 2016/2017 年度研究分科会会員募集要項(原稿)(様式 09)、(資料 5) 2015 年度私立大学図書館協会スケジュール、(資料 6) 2015 年度東地区部会研究部運営委員会日程について確認を行った。

次に研修分科会の拡大提案である「大学図書館員スキルアップコース(仮)」の実施と必要性について、オブザーバーとしてご参加いただいた高野真理子様(大学図書館支援機構)からご説明をいただき、その後、運営委員と意見交換を行った。

高野様ご提案の趣旨、研修の必要性については運営委員全員もよく理解していること、ただし 2015 年度はすでに出来上がった計画に沿って運営が進んでいること、今期のうちにテストケースとして試行するための予算が確保されていないこと、募集・計画についても、研究部担当理事校だけでなく、分科会更新担当理事校、分科会月例会担当理事校の業務にも及ぶことも考慮する、といった意見があげられた。これらを踏まえて、今回は高野様のご提案を研究部として受け止め、2016 年度以降の実施について検討を行ったうえで、実現の可能性を探る、という結論となった。

以上を以て議事、意見交換等を終了した。

以上